

- 日 時 令和 6 年 11 月 25 日（月曜日） 午後 6 時 30 分～ 8 時 20 分
- 場 所 武蔵野市役所 412 会議室
- 出席者 岩本会長、大久保副会長、安東委員、岩岡委員、
久保田委員、後藤委員、杉本委員、立野委員、西村委員、
長谷川委員、福本委員、山本委員、横井委員、横山委員
- 事務局 障害者福祉課長、管理係長、基幹相談支援センター長、
相談支援担当係長、管理係内主査、
基幹相談支援センター係内主査

1 開会

2 障害者福祉課長あいさつ

3 配付資料確認

4 議事

(1) 専門部会の活動報告について

【委員】（相談支援ネットワーク部会）

今年度は、事例をもとに「あったらいいな」という社会資源をまとめていこうという方針で活動している。これまで 5 回開催し、大きく分けて 5 つ課題が挙がっている。

- ① 年齢等のライフステージごとの相談への対応
- ② 障害の有無にかかわらず、誰でも気軽に利用できる場
- ③ 分野を超えた職員のつながりづくり
- ④ 新しい情報を手に入れやすくする仕組み
- ⑤ 緊急時の対応方法

【委員】（相談支援ネットワーク部会）

当事者の方から、それぞれ見つけた社会資源があるという話を伺ったので、普段どのような社会資源を使っているのか、何をきっかけに繋がったのかなど、当事者にアンケートをお願いする予定である。

【副会長】（相談支援ネットワーク部会）

今年度は、障害種別や関わる人たちの枠を超えて繋がることのできる居場所をテーマに話し合いを進めてきた。新しいものをつくり出すだけでなく、今ある社会資源をどのように活用するかが課題だと思っている。

【委員】（地域移行部会）

今年度は、実際に活動する年と位置づけて、主に 3 つの活動を行ってきた。

- ① ピアサポーターの育成

② 地域移行の動機づけ支援

③ 事例検討

このうち②については、他の自治体の先行事例を勉強するため、井之頭病院の動機づけ支援を見学する予定である。また、今まで病院の職員に地域移行、退院に関するアンケートを取ったことはあるが、実際に入院している患者を対象にした調査は行っていないかったということで市から提案があり、部会員からも了承を得た。

11月12日に住まい部会が行った不動産業者との座談会に参加させていただいた。

【委員】（地域移行部会）

地域移行部会は皆さんが熱心に取り組みを進めており、今年度の後半の取り組みが具体化し、ほっとしている。

【会長】

地域移行部会は、病院や入院中の人との関わりがあり、慎重な対応を要する部分も多い。一方で、早く何とかしたいという思いもあるので、現時点でできる活動をしっかり取り組んでいくことが大切だと考えている。

【委員】

地域移行部会が「にも包括」の協議の場と併せて運用されることになったが、今後の対応などはどのようなになっているのか。

【委員】

地域移行部会の話合いの中で出てくる課題が「にも包括」の内容とも重なるということでやっているが、まだ「にも包括」として何かを議論をするところまでは行っていない。

【事務局】

「にも包括」は、精神障害の有無にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らしていけるような仕組み、重層的な支援体制を構築する事業だが、新たに会議体をつくるのではなく、地域移行部会でご協議いただいている内容が「にも包括」にも大きく関わっているので、地域移行部会を「にも包括」の協議の場として位置づけている。先ほど部会長から住まい部会の座談会に参加された話があったが、そのような部分は「にも包括」でポイントとなっている住宅支援にも繋がると考えている。

【会長】

「にも包括」はテーマが広いので、他の部会にも関連してくる。「にも包括」の協議の場については、改めて確認する機会が必要だと考えている。

【委員】（住まい部会）

住まい部会では、一人暮らしをする方を支援するためのパンフレットを作ることを検討している。直近の部会では事例検討を行ったが、例えば電気・ガスの手続きや引越し業者の選定、荷造りで困っているなど、これまで知らなかった困りごとが出てくる度に驚いている。一人暮らしを始めた人が孤立しない支援も同時に考えていく必要があるという意見も出た。

11月12日に行った座談会では、あんしん住まい推進協議会の方の話とは違った視点から話が聞けたので、もっと不動産屋とのコミュニケーションを深めたほうがよいと感じた。不動産屋のコミュニティを作ると良いのではないかという話もあった。いろいろな話を聞けたので、これからまとめていこうと思っている。

【委員】（住まい部会）

住まい部会では、障害のある方の、この地域で一人暮らしをしたいという思いを実現するために実際に役立つものを作りたいということで、不動産屋に来ていただいていた座談会や実際のケース検討をしてきた。この内容を形にしていくのが今後の課題である。

【委員】

今回の不動産屋にはどのような経緯で来ていただくことになったのか。また、今後もっと横展開をしていくような流れはあるか。

【委員】（住まい部会）

良い事例を聞いたかったので、生活保護等の分野で成功事例をたくさん持っている不動産屋にお願いした。今後の展開は決まっていないが、他の不動産屋にも良い事例を知ってもらうことは良いことだと思う。

【会長】

住まいの話は大きな課題で、良い情報が欲しいとは思いますが、あまりオープンにはできないところもある。どこに繋がると良いかというようなヒントがあると、障害を理由に契約を断られるというような体験はしなくて済むのではないかと思った。

【委員】（当事者部会）

当事者部会では、あったかまつりで模擬選挙の準備をしていたができなかった。あったかまつりに知的障害のある女の子を連れた家族が来て、投票の体験をできたのは良かった。

今月の初めに、バーベキューを行った。人数は10人ぐらいだったが、障害者と介助者とが分からないのでラベリングするように施設から言われた。また、バーベキュー広場の利用範囲の区画が地面に引かれており、車椅子が何台か集まると狭く利用しづらかった。みんなが楽しくやろう

としているのに、だんだんハードルが高くなるのはいかなものか。

先日、エレベーターに乗るのに30分待たされた。すぐ後ろにエスカレーターがあるのに一般の人がエレベーターを使用するのはおかしいと思う。多目的トイレで寝ている人がいたり、モラル的にどうかと思う。

【会長】

差別解消法の周知、啓蒙に関連する話で、どう発信していくかが大事だと思う。

【委員】（当事者部会）

あったかまつりの会場の入口にちょっとした段差ができてしまうので、今回は段ボールで解消した。公共施設なので、マットやスロープを用意しておく和良好的ではないかと思った。

バーベキューについては、合理的配慮で介助者の人数はカウントしないことになっているが、区画の広さは変わらないので、その分狭くなる。ユニバーサルサービスとして2区画借りられるような運用の変更はできないか。会長が言われたように、差別解消法的な視点で、互いにキャッチボールできるような機会が必要だと思った。

【委員】（交流・集いプロジェクト）

11月6日に交流・集いプロジェクトを開催した。夏に「関前を元気にする会」から話を聞いたが、後半も地域活動を行っている団体と一緒にイベントをできないかということになり、けやきコミュニティ協議会の役員の方々と交流・集いプロジェクトのメンバーで話をする機会を設けることになった。福祉色の強いイベントではなく、誰もが楽しそうに行っているイベントの中に当事者が自然と交わるようなイベントができないかという視点で話し合いたい。

【委員】（交流・集いプロジェクト）

今回、あったかまつりの模擬選挙の手伝いを楽しみにしていたが、残念ながらできなかった。模擬店でけやきコミセンの方がお汁粉を出していたので、またお話ができることを楽しみにしている。

【委員】（交流・集いプロジェクト）

3月の全体会のときに、楽しいところに人が集まるという話があったが、楽しいことは人によっても違うので、基本的に口コミで探っていくしかない。「関前を元気にする会」やけやきコミセンの例など、だんだんと楽しいところに近づいている状況だと思う。

【委員】（交流・集いプロジェクト）

特に何をしたということはないが、時間はかかっても一つずつ焦らずにゆっくりと積み上げていけたらよいと思う。バーベキューの後片づけを手伝いた。

【会長】

バーベキュー大会など、実際にいろいろな活動をしていく中で見えてくる地域課題を挙げていただき、それを何らかの形で発信していくことは大事だと思う。交流・集いプロジェクトは、今まではふれあいカフェなどを自分たちで企画していたが、今回は既にあるイベントに参加して、交流を広げていこうという方向で進めているのかと思う。住まい部会からの情報も含めて、このような情報をどこかにストックして、共有できると良いと思った。

【委員】

相談支援ネットワーク部会でも居場所や楽しい集いの場を考えているので、交流・集いプロジェクトと一緒に考えられるとよいと思った。

【会長】

部会がつながって、一緒にできる活動はたくさんあると思う。

(2)専門部会での課題等について

【委員】（相談支援ネットワーク部会）

相談支援ネットワーク部会は、部会員と意見を言い合えるようになっている。あったらいいなという情報は、部会の中だけでは限界があるので、枠を超えてもっといろいろな話ができると良い思っている。

【委員】（地域移行部会）

地域移行部会は、精神科病院に長期入院されている方を対象として設定して、活動に取り組んでいる。事業者の中には精神障害の分野はあまり経験がない方もいるので、もう少し丁寧に説明していきたい。

「にも包括」については、今年は意識しながらできていなかった部分があるので、今後の課題になってくるかと思う。

【委員】（住まい部会）

住まい部会は、いろいろな話が出てくるが、結果的にその内容がまとまらないというのが課題である。

【委員】（住まい部会）

障害を持った方が一人暮らしをする上での支援は多岐にわたっている。部屋を見つけるところから、実際に一人暮らしを始めるとごみの出し方一つを取っても課題になる。グループホームに住む方は増えてきていると思うが、そこから一人暮らしへ進むためのハードルをどう考えていくのか、考えれば考えるほど新たな課題が出てくると感じている。また、営利事業者である不動産屋と互いに有意義な関係に持つていくことも難しい課題だと思う。

【委員】（当事者部会）

当事者部会は、人数が思ったように増えていない。会議の開催時間について、夜の時間帯では夕飯を作るとか介助者がいない等の理由で来れない方もいるし、昼間は働いている当事者もいる。開催時間をどうするかが一番困っている。知的障害のある当事者もあまり来なくなっているのも、どうやって当事者を増やすかが課題だと思う。

何かイベントをやるときに、親会のメーリングリストでボランティアを募集して良いのか。日常生活を送るだけでも大変なのに、イベントを企画するのはなかなか有期がいる。

車椅子でも利用できる居酒屋についての情報が少ない。そのような情報をみんなが持っていれば交流も広がると思う。

【委員】（交流・集いプロジェクト）

交流・集いプロジェクトの運営について、今期から当事者部会の中に入る形になったが、当事者部会はもともとやっていた大きな活動があるので、それを壊してまで入り込むようなものではないと感じている。差別解消を大きな目的とするなら、親会のテーマでもあるので、親会直結のプロジェクトとして位置付けた方が動きやすいと思った。

活動内容について、今以上に大がかりな企画を行う場合は親会や当事者部会だけで考えていくのは厳しいので、既にある企画と一緒に参加するほうが集客や広報の面からも良いと思う。例えば市民活動推進課でやっている人権週間の講演とパネル展など、それぞれの課が同じような目的でいろいろな事業を行っているのも、市内にある既存の企画と一緒に取り組むためにも親会直結のプロジェクトの方が良い。自立支援協議会として、次期の部会をどうするか、差別解消のためにどういう活動内容にしていくかを考えていく必要がある。

【会長】

プロジェクトの位置づけについて具体的な提案をいただいたので、次期に向けて皆さんのご意見をいただければと思う。

【副会長】（相談支援ネットワーク部会）

相談支援ネットワーク部会では、児童の分野の方が少ないので、児童分野の方たちが感じている地域課題をどう吸い上げて、部会の中で議論や意見交換をしていくかが課題だと感じている。

もう一つは、自立支援協議会の中で出てきた地域課題にどのように取り組んで、課題を具体的に解決していくのか、自立支援協議会でどこまでできるのかが分かりづらい。成果としてマップを作成することは良いと思うが、そこで終わってしまっても良いのか。提言までなのか実働もしていけるのか、一度皆さんと意見交換したいと感じた。

【委員】（当事者部会）

今年度、市内の私立施設の運営が変わり、療育やグループホームのことなどで困っているという声が届いている。また、近隣市のショートステイの施設が閉鎖されるということで、心配の声が上がっているので、情報としてお伝えする。

【会長】

今回は今期のまとめに向けた会議になるので、また意見をいただければと思う。

私の個人的な感想だが、無理にまとめなくて良いのではないかと感じた。無理にまとめようとする大切なものが漏れていってしまうので、課題が散らかっているのが現実なのであれば、まずはその現実を共有することが大切だと思う。

今回、様々な人がいろいろな情報を持っているが、その情報を必要とする人にうまく繋がっていないという印象を受けたので、いろいろな情報をまずは整理しないで放り込める、知恵袋や情報袋みたいなものを作れると良いと感じた。

(3)その他

○地域自立支援協議会における個人情報の取扱いに関するガイドラインについて

【事務局】

前回の親会でいただいた意見を反映し、正式なガイドラインとして作成した。今後の親会及び専門部会の活動については、配布したガイドラインを遵守していただきたい。

○令和6年度の全体会について

【会長】

令和6年度の全体会が3月に予定されている。前年度と同様に、前半は各部会からの活動報告、後半は全体でのグループディスカッションという形式で良いか。詳細なテーマ等については、次回の親会で協議したい。

5 閉会

—— 了 ——